

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	10 03 03	中期総合計画主要施策番号	3-09、5-09	担当課	部・課	建設部道路管理課	
事業名	道路橋梁補修事業(公共)				内線	3398	
					E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S31 ~	根拠法令等	道路法56条、道路の修繕に関する法律1条				
実施方法	直接実施					国庫・県単	国庫補助事業

  

事業の概要等	目的(必要性)	橋梁の耐震補強を行い災害時の防災活動支援ルートを確保するとともに、今後増加する老朽橋を計画的に補修し、道路利用者の安全を確保する。				
	対象	県が管理する道路橋				
	目指すべき姿	道路橋の適切な保全を行い、計画的な補修により長寿命化を図りコストの縮減に寄与する。(第1次緊急輸送路における耐震補強は、H24年度には100%)				
	事業内容	橋梁の保全 ・防災時の防災活動支援ルートを確保するための耐震補強工事 ・老朽化・損耗による劣化進行を抑制するための予防保全及び破損部等の補修・補強工事 ・地域自主戦略交付金(国費率【国】5.0/10or4.5/10、【県】5.5/10or4.5/10) ・地域自主戦略交付金及び社会資本整備総合交付金(全国防災)平成24年度からの国費率【国】5.0/10、【県】6.0/10				

  

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 公共橋梁補修費 = 1,231,728千円 県単橋梁補修費 = 571,813千円 公共事業実施橋梁数 = 30 県単事業実施橋梁数 = 21  H24への繰越額 = 737,495千円
	最終予算額 (A)		千円	2,388,488	1,977,758	1,297,973	
	決算額 (B)		千円	1,681,963	1,379,810	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	214,594	62,984	57,973	
	概算人件費	従事する職員数	人	15.00	15.00	15.00	
	概算人件費 (C)		千円	-	-	-	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	1,681,963	1,379,810	1,297,973	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・平成23年度完了数 0橋 (事業着手は 計117橋)  ・平成23年度完了数 28橋 (事業着手は 計117橋)  ・(効率指標算出式) 概算事業費 ÷ 橋数
	耐震補強完了数(1次緊急輸送路)	橋	114	114	117	
	耐震補強対策率(1次緊急輸送路)(活)	%	97	97	100	
	長寿命化修繕完了数(～5年以内修繕)(活)	橋	80	108	117	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 一橋当たりの事業費	千円/橋	36,564	34,757	24,490	

  

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価		評価区分
	・第1次緊急輸送路における、耐震補強工事の着実な実施(目標114橋) ・橋梁長寿命化修繕計画に基づいた計画的な補修の実施(優先度ランク における目標108橋)	・当初の事業目標に掲げたとおり、耐震補強工事(目標114橋)及び橋梁長寿命化修繕計画に基づいた補修の実施(目標108橋)が達成できた。		<b>b</b> 期待どおり

  

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・大規模地震の切迫性が指摘される中、緊急輸送路の確保は重要な課題である。 ・また、高度成長期に大量に建設された社会資本ストックの急激な老朽化への対応が必要となっている。 ・道路法により道路管理者(県)が行うものとされており、有効性・効率性を高めながら責任ある対応をとっていく必要がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			

  

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・耐震補強の未対策橋梁については、今後も引き続き継続して実施していく必要がある。 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づいた計画的な補修や予防補修を進め、また、定期点検等により状況を的確に把握して、緊急対応にも万全を期す。				
	特記事項					